



ITU-T 第12回FG-AN会合報告

楽天モバイル株式会社 リサーチ・イノベーション部
Leon Wong



1. はじめに

Autonomous Networks（自律型ネットワーク）に関するFocus Group（FG-AN）は、2020年12月17日にオンラインで開催されたSG13プレナリ会合において設立された。FG-ANの主な目的は、Autonomous Networksの実現に向けた標準化の準備活動を行うとともに既存の技術の精査と、それらを活用するためのオープンな議論の場を提供することである。FG-ANの第12回会合は、2023年7月12日から7月13日までオンラインで開催された。本会合の後、第3回FG-AN Build-a-thonワークショップが2023年7月14日に実施された。

2. 会合概要

本会合には9か国から計18名が参加し、うち3名が日本からの参加者であった。

本会合には、討議されるべき寄書が改訂版と添付資料を含めて13件提出された（寄書8件、リエゾン2件、管理文書3件）。

本会合の議長は楽天モバイルのLeon Wong（レオン・ウォン）氏が務めた。

3. 会合のハイライト

3.1 本会合の主な成果と決定

FG-ANは下記の事項を承認または討議した。

- －FG-ANの成果物の進捗状況
- －他グループとの交流
- －CG-Datasets（Correspondence Group for datasets）との合同会合
- －学生参画

3.2 FG成果物の進捗状況

■表1

タイトル	文書番号	提出者
1. Knowledge Management for Autonomous Network 自律型ネットワークのためのナレッジマネジメント	I-339	Ziting Chang氏 (中国電信)
2. Video-oriented Autonomous Network 動画指向の自律型ネットワーク	FGAN-I-340 FGAN-I-340-att	Li Liu氏 (ZTE)

第12回FG-AN会合（2023年7月12日にオンライン開催）において表1の寄書が発表されており、これらを（FG-AN成果物として）最終的にまとめ、更なる検討のために親グループに提出することが合意された。

「自律型ネットワークのためのナレッジマネジメント（Knowledge Management for Autonomous Network）」は新たな成果物作業項目として合意され、FG-ANにおいて作業を進めている。成果物の草案では次の点について論じている。

- ・背景
- ・ギャップ分析
- ・定義、分類、知識源
- ・自律型ネットワークにおけるナレッジマネジメントの要件
- ・ナレッジマネジメントのアーキテクチャと機能

2件目の寄書「動画指向の自律型ネットワーク（Video-oriented Autonomous Network）」について討議が行われた。この寄書は、トラフィックの急増とネットワーク要素数の増加によって生じる運用上の諸問題に対処するため、自律型ネットワークの急速な発展の背後にあるビッグビデオの分野に、適切な技術を応用する方法に関するアイデアと慣行を紹介したものである。発表の内容は次のとおり。

- ユニバーサル動画システムのアーキテクチャ
- 指向性自律型ネットワークのアーキテクチャ
- 統合型
 - ・リソース管理
 - ・コンフィギュレーション管理
 - ・モニタリング
- 運用保守（O&M）の自動化
 - ・自動予防保守
 - ・自動試験
 - ・自動故障解析
- インテリジェントO&M—動画エラー予防／故障解析

3.3 他グループによる寄書

CG-Datasetsとの合同会合において、本寄書「CG-datasetsとの自律型ネットワーク関連データセット分析の提案（Proposals for analysis of datasets with CG datasets related to autonomous network）」について討議した。討



■表2

タイトル	文書番号	提出者
Proposals for analysis of datasets with CG datasets related to autonomous network CG-datasetsとの自律型ネットワーク関連データセット分析の提案	I-337	Marco Carugi氏 (CG-Datasets Co-Convener) Vishnu Ram氏 (CG-Datasets Co-Convener)

議内容は次のとおり。

- ネットワークにおける自動化と自律性に関するユースケース（使用事例）に関連するデータセット
- 2021年、2022年及び2023年の概念実証（PoC）「Build-a-thon」向けに検討されたデータセット
- ANに適したデータセットのモデル化と変換

さらに、自律型ネットワーク関連データセットの編纂と分析を、[ITU-T Y.Supp 71] と今回発表されたドラフト分析にあるユースケースから始めて共同で行うことが提案された。

3.4 第3回FG-AN Build-a-thonワークショップ

2023年の第3回Build-a-thonワークショップは、2023年7月14日（金）に開催された。このワークショップには34名が参加登録し、16名が出席した。下記のプレゼンテーションが実施された。

- 来賓講演：Ponni Krishnamoorthy氏（ノキア、テレコムクラウドデータセンター及び4G/5G試験ネットワーク責任者）
- 背景と概要
- デモ：メンタリングとAI/ML（人工知能／機械学習）手法
- デモ：ミンナ連邦工科大学（FUT Minna）
- メンター講義、新規参加者の紹介

本ワークショップの録画動画は下記URLで視聴できる。

https://itu.zoom.us/rec/share/sJ1K2gVzUzEBcea16dimf00bnujTK_s6vdGaGMYR0YhfFri6O54ibZmHx0CII4qs.diy0XqVOZbYyEEBe

3.5 リエゾン

FG-ANと他の諸組織との間で複数のリエゾン文書が交わされた。

受領したリエゾン文書

表3は、第11回会合後から第12回会合まで（同会合中を含む）の間に受領したリエゾン文書（LS/i）をまとめたものである。

■表3

タイトル	発行者	文書番号
2023年7月現在のFG-TBFxGの進捗についてのLS/i	FG-TBFxG	FGAN-I-338-LS
意図駆動型管理に関する3GPP SA5 R18の取組みについてのLS/i	ETSI ISG NFV	FGAN-I-335-LS

4. おわりに

FG-ANでは、2023年10月24日にSG13会合と同じ場所でのワークショップ開催を計画していることが言及された。このワークショップに是非ご参加いただきたい。

本会合は、2023年7月13日（木）15時54分（中央ヨーロッパ標準時）に閉会した。FG-AN議長は全参加者に対し、本会合への出席と、FGの活動に様々な形で貢献し、熱心に取り組んでいただいていることへの感謝の意を表した。

週例電子会議は、今後も引き続き毎週木曜日午前8時（中央ヨーロッパ夏時間）に開催する。次回FG-AN会合（第13回会合）は、暫定的ながら2023年9月28日に開催予定である。